

平成29年3月13日
中部経済産業局

大学×地場産業で地球も喜ぶ「エコ×エコ商品」が生まれました

<学生目線のアイデアで地球温暖化対策>

中部経済産業局では、J-クレジット制度※1の普及に向けた取り組みの中で、地球温暖化対策につながる製品開発を支援しています。製品・サービスにかかるCO₂排出量の一部をオフセットすることで、他商品との差別化やブランディングにつなげるものです。このたび、大学生のアイデアを活かし、企業とのコラボによる環境に優しいエコ商品が実現しました。中部産CO₂クレジット※2を活用した商品に環境貢献への思いが込められています。

1. 大学生×企業の産学連携によるエコを訴求した製品開発

地球温暖化対策に関心の高い当地域の大学と当地域を代表する地場産業企業とのコラボによって、環境負荷の低い製品が開発されました。これらの商品は環境に配慮した原料、製法が用いられている上、中部産CO₂クレジットを付与することで、中部地域のCO₂削減に貢献する「エコ×エコ商品」となっております。

(1) のこり染めPETポンチョ ※詳細は別紙1

愛知学院大学経営学部 鶴飼宏成教授・古澤和行教授による授業「バーチャルカンパニー」と艶金化学繊維株式会社（代表取締役社長 墨勇志）のコラボにより開発された商品

(2) 木曾ヒノキのアクセサリースタンド ※詳細は別紙2

愛知学院大学経営学部 林伸彦教授と株式会社安藤七宝店（代表 安藤重幸）のコラボにより開発された商品

(3) 名大ジェラート ※詳細は別紙3

名古屋大学大学院環境学研究科 涌田幸宏准教授と合名会社納屋橋饅頭万松庵（代表社員 中島康博）のコラボにより開発された商品



のこり染めPET
ポンチョ



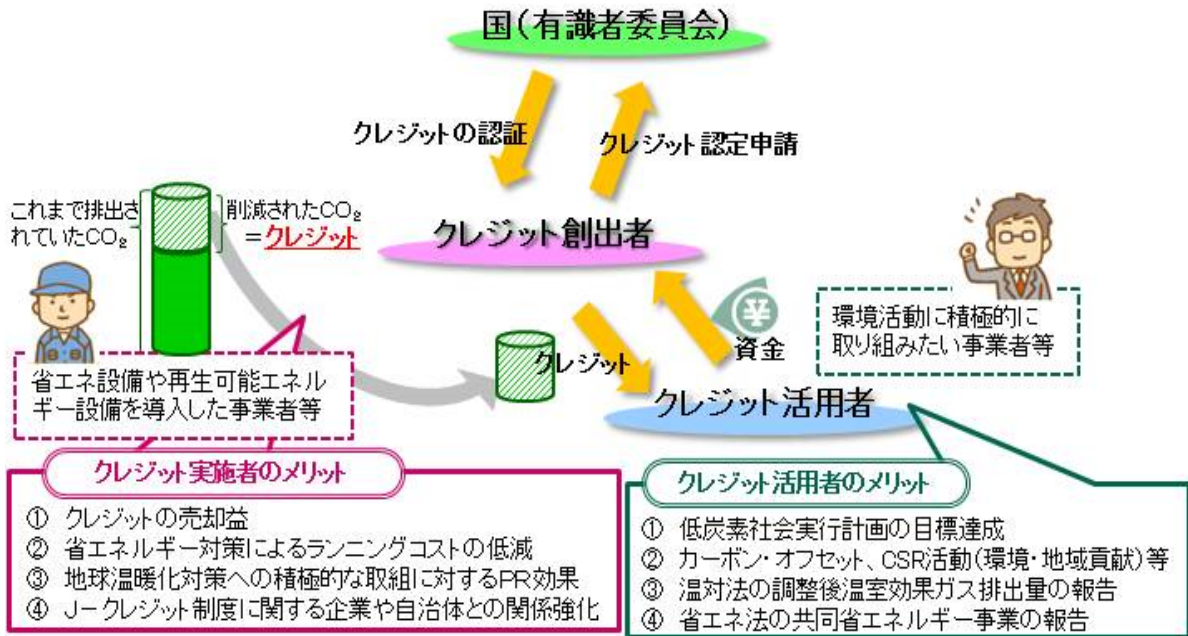
木曾ヒノキの
アクセサリースタンド



名大ジェラート

※1 J-クレジット制度について

省エネ設備の導入や再生可能エネルギーの活用によるCO₂の排出削減量、または適切な森林管理によるCO₂の吸収量を、クレジット（排出権）として国が認証し、市場での取引を可能にする制度です。



※2 中部産CO₂クレジットとは

中部地区の中小企業等による排出削減活動によって生み出されたJ-クレジットを地域としてまとめ、ブランド化したものです。

クレジットを地域ブランド化することにより、地域への環境貢献を明示化し、クレジットの地産地消を目指しています。



○中部地域 中小企業者等に対するソフト支援事業等活用のご案内

中部経済産業局では、J-クレジット制度ソフト支援事務局（平成28年度委託先：三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社名古屋）を設置し、中小企業等がJ-クレジットに取り組むための各種支援を行っています。

(お問合せ先)

中部経済産業局 エネルギー対策課長 浅井

担当：稲吉

電話：052-951-2775（直通）

愛知学院大学（経営学部 バーチャルカンパニー） × 艶金化学繊維
自転車利用者向け「のこり染めPETポンチョ」

1. 大学の開発メンバー紹介

愛知学院大学経営学部 鵜飼宏成教授・古澤和行教授による授業「バーチャルカンパニー」では、地域の企業と学生との連携により社会的課題の解決に取り組んでいます。受講生たちでつくるグループ“学生バーチャルカンパニー”のひとつ「CAR-PON」のメンバー、経営学部3年生長谷川真也さん・野澤昇太郎さん、2年生祖父江大輝さんは、雨の日に傘を差して自転車を運転することが交通事故の要因になっていることに着目し、オシャレで脱着しやすいポンチョ・タイプのレインコートにより傘差し運転を減らすことを考え、「のこり染めPETポンチョ」を開発しました。

2. 製品の特徴

この製品にはペットボトルの再生糸（エコペット）と艶金化学繊維株式会社（代表取締役社長 墨勇志）の「のこり染め」の生地を使用しています。「のこり染め」は、化学染料ではなく地元の食品工場等から排出される残さを有効活用することによる、独特の柔らかい風合い、色合いが特徴です。

3. トレードフェアで入賞

「のこり染めPETポンチョ」は「メッセナゴヤ」及び「IFFT/インテリア ライフスタイル リビング」に出展し、好評を博し、繊維専門日刊紙「繊維ニュース」にも掲載されました。また、起業家精神を持つ若者の育成を目的とした「ユースエンタープライズ・トレードフェア」では、ものづくりにおいて新しい発想があったチームに贈られる「青少年と科学の会」賞を受賞しました。



愛知学院大学経営学部 古澤和行教授と
CAR-PON メンバー、艶金化学繊維墨勇志社長
(メッセナゴヤ)



のこり染めポンチョ出展ブース
(IFFT)

■製品についてのお問合せ先

艶金化学繊維株式会社（法人番号：9200001020340）

住所：岐阜県大垣市十六町高畑1050 電話：0584-92-1821

愛知学院大学（経営学部 林伸彦ゼミ） × 安藤七宝店
木曾ヒノキのアクセサリースタンド

1. 大学の開発メンバー紹介

愛知学院大学経営学部 林伸彦教授のゼミは「中小企業の経営戦略」を専門とし、事例に基づくディスカッションを通じて地域企業の経営を学んでいます。林教授は伝統産業の研究もされていることから、連携先企業として、尾張七宝の老舗である株式会社安藤七宝店（代表 安藤重幸）の協力を得て、「伝統工芸×エコ」をテーマにカーボン・オフセット商品の開発に取り組みました。

企画テーマは「木曾ヒノキの間伐材と七宝焼を組み合わせ、大事な人への贈り物となる商品を考える」で、ゼミ3年生の高橋沙織さん、古川瑞綺さん、穂積秀哉さん、野田真由さん、山本早貴さんのグループによるアイデアが採用されました。

2. 製品の特徴

「ヒノキが持っているぬくもりと七宝の色彩豊かなきらめきを組み合わせ、日常の一コマに存在できるもの」をコンセプトに、愛らしいフクロウをモチーフとした、木曾ヒノキ製のアクセサリースタンドは、リビングや玄関のインテリアとしても活用ができます。

なお、この商品は一部をカーボン・オフセットしていると同時に、売上の一部は名古屋城本丸御殿復元事業に寄付されます。



愛知学院大学経営学部
林伸彦教授とゼミ3年生、
安藤七宝店 近藤真充名古屋本店長



木曾ヒノキの
アクセサリースタンド

■製品についてのお問合せ先

安藤七宝店 名古屋本店（法人番号：6180001033884）

住所：愛知県名古屋市中区栄三丁目27番17号 電話：052-251-1371

名古屋大学 × 納屋橋饅頭万松庵 名大ジェラート

1. 大学の開発メンバー紹介

名古屋大学大学院環境学研究科 涌田幸宏准教授は全学教育科目の授業「産業社会と企業」の中で、昨年度に引き続き学生と企業の連携によるカーボン・オフセット商品の開発に取り組みました。今年度は大須に本社を構える合名会社納屋橋饅頭万松庵（代表社員 中島康博）の納屋橋ジェラートを題材に、大学生向けのプロモーションを企画・検討しました。

2. 製品の特徴

「納屋橋ジェラート」は、製造過程で出る商品基準条件に満たなかった「納屋橋まんじゅう」を米麴がもつ液化酵素を使って液状化させ、ジェラートとして加工したものです。「納屋橋まんじゅう」は自然発酵の生地のため、温度や湿度によって製造の出来上がりが左右され消費期限も短くなっていますが、ジェラートにすることで遠方発送も可能になり、従来よりも長期にわたる販売が可能かつ製造ロスの軽減により、エコにつながる商品となっています。

今回は「大学生・大学院生に納屋橋ジェラートを買ってもらうためには」をテーマに、販売促進のアイデアを募りました。学生から出た「学生の多い場所で販売する」、「限定品として魅力を打ち出す」等のアイデアを踏まえ、平成29年4月から名古屋大学生協にて、名古屋大学限定パッケージの納屋橋ジェラートを「名大ジェラート」として期間限定で販売します。



名古屋大学 涌田幸宏准教授と
「産業社会と企業」受講生、
納屋場饅頭万松庵 中島健一朗営業部次長



名大ジェラート
(写真左はカップ上部を拡大したもの)

■製品についてのお問合せ先

合名会社納屋橋饅頭万松庵 本店（法人番号：2180003007171）

住所：愛知県名古屋市中区大須二丁目6番11号 電話：052-201-7884